



平成 19 年 2 月 13 日

各 位

株式会社アルプス技研
IR・広報室

平成 18 年 12 月期業績の概況及び平成 19 年 12 月期業績予想について

株式会社アルプス技研の平成 18 年 12 月期(平成 18 年 1 月 1 日から平成 18 年 12 月 31 日まで)業績の概況及び平成 19 年 12 月期(平成 19 年 1 月 1 日から平成 19 年 12 月 31 日まで)予想につきまして下記ご説明申し上げます。

【Ⅰ】連結業績

(1) 連結業績の主要数値

		(前 期 比)
売 上 高	215億9,200万円	(10億5,500万円増、5.1%増)
営 業 利 益	15億8,600万円	(300万円減、0.2%減)
経 常 利 益	14億8,800万円	(1億1,200万円減、7.0%減)
当 期 純 利 益	4億1,100万円	(3億9,000万円減、48.7%減)

(2) 連結事業のセグメント別売上

		(前 期 比)
アウトソーシングサービス事業	208億3,800万円	(15億6,200万円増、8.1%増)
そ の 他 事 業	7億5,300万円	(5億700万円減、40.2%減)

製造業からの技術者に対する派遣要請が引き続き堅調な環境にあつて、当社グループは派遣事業に注力してまいりました。その結果「アウトソーシングサービス事業」の売上高は前期比で8.1%増となりましたが、「その他事業」売上高は同40.2%減となり、連結売上高は215億9,200万円(前期比10億5,500万円増、5.1%増)となりました。

しかしながら上期において業務系ソフト開発子会社における赤字プロジェクトの売上計上があったことや、採用のための募集費や子会社の新規営業拠点開設等に伴い販管費が増加したことなどにより、営業利益は前期を若干下回る(前期比300万円減、0.2%減)こととなりました。また営業外費用として持分法投資損失が前期より1億1,000万円増加した為に、経常利益は前期比で1億1,200万円減、7.0%減となりました。

当期純利益につきましては、債務超過に陥っている持分法適用会社について、当該債務超過額のうち当社の負担が見込まれる金額4億600万円を計上するとともに、当社工場の蓼科テクノパーク等の固定資産について減損損失2億4,700万円を計上したことにより、当期純利益は遺憾ながら前期比3億9,000万円減、48.7%減の4億1,100万円となりました。

【Ⅱ】個別(アルプス技研)業績

(1) 個別(アルプス技研)業績の主要数値

		(前 期 比)
売 上 高	182億800万円	(9億3,000万円増、5.4%増)
営 業 利 益	15億400万円	(1億3,900万円増、10.3%増)
経 常 利 益	15億7,000万円	(1億5,100万円増、10.7%増)
当 期 純 利 益	4億3,300万円	(2億5,100万円減、36.8%減)

(2) 個別(アルプス技研)事業のセグメント別売上

		(前 期 比)
アウトソーシングサービス事業	176億8,300万円	(13億7,300万円増、8.4%増)
そ の 他 事 業	5億2,400万円	(4億4,200万円減、45.8%減)

「アウトソーシングサービス事業」は、【Ⅰ】連結業績のとおり技術者派遣事業が売上を牽引しました。殊に派遣売上高が請負売上の減少を吸収して前期比16.5%増と総売上高の82.0%を占めるまでになり、総売上高は182億800万円

(前期比9億3,000万円増、5.4%増)と12期連続増収となりました。

それに伴い営業利益、経常利益ともに前期比で10%以上の利益をあげることができ、経常利益は12期連続の増益となりました。しかし【I】連結業績のとおり、特別損失として持分法適用会社に対する債権・株式等の評価損、固定資産の減損損失等の計上により(前期比5億8,200万円増)、当期純利益は4億3,300万円(前期比2億5,100万円減、36.8%減)と減益となりました。

(3) アウトソーシングサービス事業売上上位100社による主要業種別売上高構成

業 種	売 上 高	前期比	売上高構成比	
			06年	05年
自動車・部品・ナビオーディオ	41億9,300万円	+2.4%	30.3%	31.1%
家電	16億7,400万円	△7.5%	12.1%	13.7%
携帯電話	5億2,300万円	+8.7%	3.8%	3.7%
半導体	12億700万円	+56.8%	8.7%	5.8%
精密機器	33億6,800万円	+17.7%	24.4%	21.7%
通信	5億円	+62.5%	3.6%	2.3%
ソフト開発	6億8,100万円	△28.9%	4.9%	7.3%
その他(機械、環境機器他)	16億6,800万円	△11.7%	12.1%	14.4%
100社合計	138億1,600万円	+4.9%	100.0%	100.0%

依然自動車関連業種に対する売上高がトップを占めておりますが、デジタルカメラやプリンター等の精密機器、半導体並びに通信業種に対する売上に著しい成長が見られました。

(4) 派遣稼働率、派遣稼働工数、派遣単価

	2006年通期	2005年通期
派遣稼働率	95.4%	95.2%
派遣稼働工数	180.0H	179.8H
派遣単価	3,500円/H	3,313円/H

派遣稼働率、工数、単価ともにほぼ期初予想通りに推移しました。

【Ⅲ】平成19年12月期業績予想ならびに配当予想について

平成19年12月期(平成19年1月1日から平成19年12月31日まで)の環境につきましては、前期(平成18年)より大きく変化する要因が見当たらないと想定しております。

4月入社の新卒者は240名を予定しており、昨年秋に入社した中国人新卒者44名の本格的稼働に伴う収益貢献
また今年の秋に100名入社を予定している中国人新卒者の貢献は来期(平成20年)以降と見越した上で、平成19年12月期(平成19年1月1日から平成19年12月31日まで)の業績は以下のとおり予想しています。

《中間期》平成19年1月1日から平成19年6月30日まで

	連 結		個 別	
	前年同期比		前年同期比	
売上高	110億7,000万円	6億2,800万円増、6.0%増	92億5,000万円	3億6,800万円増、4.2%増
営業利益	5億7,000万円	8,700万円増、18.2%増	5億2,000万円	1,100万円増、2.2%増
経常利益	5億8,000万円	1億900万円増、23.4%増	5億6,000万円	増減なし
当期純利益	3億1,000万円	2億3,500万円増、318.7%増	3億円	9,600万円増、47.2%増

《通 期》平成19年1月1日から平成19年12月31日まで

	連 結		個 別	
	前年同期比		前年同期比	
売上高	234億円	18億700万円増、8.4%増	193億円	10億9,100万円増、6.0%増
営業利益	17億5,000万円	1億6,300万円増、10.3%増	16億円	9,500万円増、6.3%増
経常利益	17億7,000万円	2億8,100万円増、18.9%増	16億6,000万円	8,900万円増、5.7%増
当期純利益	9億6,000万円	5億4,800万円増、133.4%増	9億2,000万円	4億8,600万円増、112.4%増

なお配当予想につきましては、期末配当としまして連結ベースの配当性向50%を目処とする従来の方針に変更はなく、当期につきましては1株当たり43円を予想しております。

以上